

奈良民商ニュース

発行 奈良民主商工会
奈良市大森西町13-16
電話0742-33-7266
FAX 0742-34-5826
HP naraminsyo.jp

一時支援金(個人・上限30万円 会社・上限60万円)の活用を 申請の相談は民商へ!

対象 緊急事態宣言に伴う飲食店時短営業・外出自粛の影響を受けていること
2021年1~3月の売上が2019又は2020年比で50%以上減少

「大阪からのお客が減った」など 奈良県業者も対象に

政府は3月8日から「一時支援金」の申請受付を開始しました。登録確認機関による事前確認が必要、緊急事態宣言地域外で地域コミュニティ内の顧客のみと取引を行う業者は対象外とするなど問題点の多い制度ですが、大阪から来るお客さんが減った場合など県内業者も対象となり得ます。
あきらめず積極的に活用し、コロナ危機を乗り越えましょう。申請のことは何でも奈良民商にご相談下さい。

【対象業者】

2021年1月に発令された緊急事態宣言に伴う飲食店の時短営業や不要不急の外出・移動の自粛の影響を受け、19年又は20年比で、21年1月、2月、又は3月の売上が50%以上減少している業者。

【給付額】

2019年又は21年の1~3月の合計売上、21年の対象月の売上×3ヶ月、上限は個人30万円、会社60万円

【申請方法】

事務局WEBサイトから申請者アカウントを取得し、登録確認機関の事前確認を受け、同サイトからオンライン申請します。確認機関は銀行や税理士など

次回の記帳会は、4月となりませう。下の日程での開催となります。ご注意ください。ください。

【日時】
4月21日(水)
13:30
【持ち物】
領収書・帳簿
筆記用具・電卓



絵手紙教室

絵手紙教室は、新型コロナウイルスの感染予防と、みなさんの健康を守るためにしばらくお休みします。

が登録しています。会員は民商の紹介で奈良税経センターの税理士による確認が受けられます。

【提出書類】

確定申告書、売上台帳、誓約、同意書、本人確認書類、預金通帳、履歴事項全部証明書 会社の場合のみ

【保存書類】

飲食店時短営業の影響又は外出自粛の影響がわかる帳簿等。提出の必要はありません。

【受付期間】

3月8日 月
5月31日 月



奈良県独自の支援を！ 奈良民商が緊急要望

奈良民商は3月19日、奈商連とともに奈良県・産業政策課にコロナ対策で緊急要望を行いました。売上が20%以上減少した中小業者に「事業継続給付金」の支給などを求めたのに対し、県の担当者は「みなさんのご意見を参考にしたい」と応えました。



飲食業の会員から切実な声が上がりました。

緊急要望には、奈良民商から浜中達也会長、製菓、大安寺支部、霜鳥純一事務局長、藤井実さん、飲食、大宮支部、高原雄亮さん、飲食、鼓阪支部、木村洋一さん、表具、佐保支部)ら6人、奈商連から松川明一会長、酒販、葛城北民商)、乾晋二副会長、印刷、柴田勝久事務局長ら3人が参加。奈良県は産業政策課の福留隆二課長ら2人が対応。日本共産党の山村さちほ県議、太田あつし県議も同席しました。
はじめに浜中会長が「新型コロナウイルスの感染拡大から中小業者の営業と暮らしを守るための緊急要望書」を福留課長に手渡し、苦しんでいる業者に奈良県独自の支援を」と訴えました。
霜鳥事務局長は「今年1月の感染拡大と緊急事態宣言発令の影響で存亡の危機に瀕している中小業者への公的支援が求められる」と要望の趣旨を説明。
国の地方創生臨時交付金を有効活用して売上が20%以上減少した中小業者に事業継続給付金の支給や固定費の補助を」などを求めました。

癒しのスペースにツバキが咲きました

南増義さん（奮雄支部）とともに 家具の久丹吉」を営む妻の清美さんは、お店の前の休憩スペースに、ツバキ、ミモザ、水仙、ランなど、自宅で咲かせた花を飾っています。

先ごろ、清美さんが挿し木か



5年でこんなに大きくなりました。

ら育てたツバキが白とピンクの豪華な花を咲かせました。

清美さんは 商店街を訪れる人たちの癒しのスペースになれば」と話しています。

参加者からは 顧客が勤務する会社から外食禁止の通達が出された影響が甚大。知事は中小業者を支援する姿勢を」藤井さん）、今年になって観光客が激減。自動検温器の設置などへの補助を。知事は安心アピールを」 高原さん）、感染への不安から高齢者が内装工事を控え、売上が減少」 木村さん

など、厳しい実情や要望が吹き出しました。

これに対し福留課長は、無利息の融資や休業協力金などを実施してきた」 交付金の残りは利子補給の基金として後年度負担に充てる」 今日生の声を聴かせてもらった。参考にしたい」などと述べるに止まりました。

世界のコロナ対策学ぶ

佐保・大宮・都跡支部が役員会

佐保・大宮・都跡支部は3月18日、支部役員会を開催し、木村洋一・佐保支部長、表具、田川幼子・大宮支部長、コンサルタント、中島辰雄・都跡支部長、美装らが参加しました。

22日付商工新聞の「コロナ対策・世界に学び」を読み合わせ、一同、なるほど」と共感しました。

春の運動」を振り返り、中島さんは 宣伝カードで音がでなくなると苦労した」と話していました。



木村さんは県への要請行動への参加を快諾しました。

役員会の若返りを

大安寺支部が役員会

3月17日、大安寺支部は役員会を開催し、浜中達也支部長、製菓、中村誠子さん、電気工事に参加。はじめに商工新聞を読み合わせた後、支部独自の何でも相談会を開催しましたね」 民商まつりも盛大に開催しましたよ」と昔話で盛り上がりました。

最後に浜中支部長は、役員会の若返りを行うため、若手会員の訪問をしましょう。次回は訪問日を決めましょう」と話しました。



若い人たちにがんばってもらわないと。と話す大安寺役員。

一年早いなあ

富雄・帝塚山班が班会

富雄支部・帝塚山班は確定申告書・書き込み班会を山中公義さん、大工宅で開催し、小堀恵子さん、飲食から3人が参加しました。

参加者は口々に、二年早いなあ」ヌガネが合わなくなつて、枠の中に数字を記入するのは至難の業やわ」 コロナの影響で、出前より店頭販売が増えた」などと近況を出し合い、交流しながら、確定申告書を記入しました。



1年間の出来事を話しながら作業する参加者たち。